

中城ハコタ道のおすすめスポット3選

MAP 8
おすすめ3 ペリーの旗立岩 村指定文化財

1853年5月アメリカのペリー提督率いる艦隊は、日本へ開国を求める航海の途中で琉球に寄港しています。沖縄島の内陸部を調査するため奥地探検隊を編成し、那覇から中北部まで足を運んだ一行は、中城ハコタ道の途中で奇妙な形の大岩に遭遇し、岩の頂上に旗を立て、岩山征服を記念し祝砲を撃ちなりました。そして、この岩に「旗岩 (Banner Rock)」と名付けました。岩山周辺で過ごした休憩時間に調査隊のハイネが描いたスケッチが残されており、当時の様子を知ることができます。現在と当時のかわらぬ風景を見比べてみましょう!!



地元でこの岩は「チャーヤ岩(ニツギ)と呼ばれているようだ。」



御嶽 (拝所) と

戦争遺跡が

同時に存在する場所

MAP 3
おすすめ1 キシマコノ嶽 (奥間集落発祥の地)

この大岩が御嶽 (拝所) の中心とされています。この付近は中城村奥間集落の発祥地として知られており、戦前まではこの場所で旧集落の豊作祈願や繁栄祈願などが行われていました。この御嶽は琉球王府によって編纂された『琉球国由来記』(1713年)に「キシマコノ嶽」(神名:天次アマツギの御イベ)と記されています。当時は、神女を中心に集落の人々がこの御嶽を拝んだと考えられており、香炉も置かれています。山奥で往来が不便なため現在は奥間集落近くに遥拝所を設け、そこからこの御嶽を拝んでいます。



おすすめ2
旧日本軍161.8高地陣地 村指定沖縄戦に関する遺跡

沖縄戦直前に旧日本軍によって構築された高地陣地は、北は北谷町、読谷村、南は浦添方面から知念半島辺りまで一望できる高台に位置しており、当時の標高計測値が161.8mあったため「161.8高地陣地」と呼ばれています。構築中に見つかった大岩下のガマ (自然洞窟) も日本軍の陣地として使われました。戦争遺跡として二度といたましい戦争が起こることがないように後世に平和の尊さを伝える場所として保存されています。

